

『糖尿病性血管障害の早期感知  
—血管機能指標CAVIの有用性—』

血管機能指標CAVIは、動脈硬化度を反映するのみならず、血管への様々なストレスによる攣縮度も反映する。その要因分析と早期対応から糖尿病性血管障害の予防と治療に役立つ可能性を述べる。

**第53回 日本糖尿病学会年次学術集会**

**ランチョンセミナー31**

**日時** 平成22年5月28日(金) **会場** 第14会場 ラヴィール岡山  
12:10~13:00 ヴィラージュの間 岡山県岡山市  
北区駅元町1-10

**座長**  
**小川 佳宏** 先生  
東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子代謝医学分野 教授

**演題**  
**糖尿病性血管障害の  
早期感知** ~新しい血管機能指標  
CAVIの可能性~

**演者**  
**白井 厚治** 先生  
東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座 教授

※ 本共催セミナーの参加には参加登録が必要となります。  
※ 第53回日本糖尿病学会年次学術集会のホームページから事前登録が可能です。

共催:第53回日本糖尿病学会年次学術集会  
フクダ電子株式会社